



平成25年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢田 雅之

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長

(氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	76,098	6.5	837	58.3	1,124	52.6	553	51.7
24年3月期第2四半期	71,436	13.6	2,009	48.5	2,371	43.3	1,145	47.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 702百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 2,543百万円 (68.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2.12	—
24年3月期第2四半期	4.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	133,164	50,457	37.6
24年3月期	128,845	52,773	40.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 50,127百万円 24年3月期 52,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,800	7.2	3,450	22.6	3,700	17.8	2,000	85.0	7.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
以外の会計方針の変更： 無
会計上の見積りの変更： 有
修正再表示： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	270,948,848 株	24年3月期	270,948,848 株
期末自己株式数	25年3月期2Q	10,442,390 株	24年3月期	10,201,173 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	260,698,621 株	24年3月期2Q	260,769,394 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業が第1四半期で東日本大震災の影響により減収となった前年同期実績を大きく上回ったことに加え、第2四半期連結累計期間を通して積極的にマーケティングコストを投入したことで、全体では760億9千8百万円と前年同期実績に比べ46億6千2百万円(6.5%)の増収となりました。

また損益は、売上高が増収となったものの売上原価率の上昇やマーケティングコストの増加等により、営業利益は前年同期実績に比べ11億7千2百万円(58.3%)減益の8億3千7百万円、経常利益も前年同期実績に比べ12億4千7百万円(52.6%)減益の11億2千4百万円となりました。また、四半期純利益につきましても5億5千3百万円と前年同期実績に比べ5億9千2百万円(51.7%)の減益となりました。

セグメントの第2四半期連結累計期間業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子部門

主力ブランドの「ミルクキャラメル」「チョコボール」「小枝」が引き続き苦戦し、前年同期実績を下回りました。一方、新商品の売上が寄与した「森永ビスケット」「ダース」「ハイチュウ」や、発売30周年のマーケティング展開が効果的だった「おっとっと」が前年同期実績を上回ったことで、主力ブランド全体は前年同期実績並みとなりました。主力ブランド全体は前年同期実績並みでしたが、「ベイク」「生ラムネ」等のその他商品群が好調に推移したことにより、菓子部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

食品部門

主力ブランドの「ミルクココア」が前年同期実績を下回り、「ケーキミックス」も苦戦しましたが、「甘酒」が好調に推移したことで、食品部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

冷凍部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」は広告効果と夏の猛暑の好影響もあり前年同期実績を上回り、冷凍部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

健康部門

主力ブランドの「ウイダーinゼリー」が、東日本大震災の影響により商品数の絞り込みをおこなった前年同期実績を上回り、さらに猛暑の好影響等もあり好調に推移しました。また、「天使の健康」シリーズの通販事業も好調に推移したことで、健康部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は706億4千9百万円と前年同期実績に比べ7.3%増となりましたが、売上原価率の上昇やマーケティングコストの増加等により、セグメント利益は4億8千万円と前年同期実績に比べ12億2百万円の減益となりました。

＜食料卸売及び飲食店事業＞

売上高は、米国での売上が伸張したものの、国内の食料卸売事業が前年同期実績を下回り、事業全体で36億7千3百万円と前年同期実績に比べ3.8%減となりました。セグメント利益は8千4百万円と前年同期実績に比べて7千6百万円の増益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、ゴルフ事業が前年同期実績を上回ったことにより、事業全体で14億9千4百万円と前年同期実績に比べ0.9%増となりました。セグメント利益は4億7千5百万円と前年同期実績に比べ2千4百万円の増益となりました。

＜その他＞

売上高2億8千万円、セグメント利益8千8百万円であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における総資産の残高は1,331億6千4百万円となり、前連結会計年度に比べ43億1千9百万円増加しております。主な要因は、流動資産の受取手形及び売掛金の増加や固定資産の有形固定資産その他が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は827億6百万円となり、前連結会計年度に比べ66億3千4百万円増加しております。主な要因は、流動負債の未払金の増加や工事に関する債務が増加したことなどによるものであります。以上の結果、自己資本比率は3.1ポイント減少し37.6%となりました。

連結キャッシュ・フローにつきましては、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ28億8千2百万円増加し、76億8千4百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は40億1千6百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ13億1千1百万円増加となりました。この主たる要因は、その他の流動資産の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、増加した資金は3億7千8百万円となりました。主な内容は、定期預金の払戻、有形固定資産の売却による収入と有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は24億1千6百万円となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前 回 発 表 予 想 (A)	161,400	3,800	3,900	2,000
今 回 修 正 予 想 (B)	157,800	3,450	3,700	2,000
増 減 額 (B - A)	△3,600	△350	△200	—

第2四半期連結累計期間で売上高は主力の食料品製造事業で積極的なマーケティングコストを投入することにより売上拡大を計画しておりましたが、前年同期実績は上回ったものの前回予想は下回りました。また損益は、主として売上高が前回予想を下回ったことにより、営業利益、経常利益ともに前回予想を下回り、四半期純利益につきましては、特別利益に固定資産売却益を計上したこともあり前回予想を上回りました。

通期につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、第3・4四半期で引き続き主力の食料品製造事業の売上拡大を図ってまいります。マーケティングコスト等の費用増を見込んでおり、上記の通り通期業績予想を修正しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、平成24年11月2日発表の「平成25年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、持分法適用の非連結子会社であった森永食品（浙江）有限公司は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,302	8,684
受取手形及び売掛金	19,100	21,142
商品及び製品	6,387	6,505
仕掛品	541	452
原材料及び貯蔵品	4,350	4,764
繰延税金資産	1,750	2,089
その他	5,124	4,592
貸倒引当金	△13	△8
流動資産合計	45,544	48,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,742	20,656
機械装置及び運搬具（純額）	12,281	13,111
土地	30,238	30,250
その他（純額）	2,887	6,916
有形固定資産合計	66,149	70,934
無形固定資産		
のれん	1,162	1,109
その他	464	454
無形固定資産合計	1,626	1,563
投資その他の資産		
投資有価証券	13,713	10,384
繰延税金資産	659	855
その他	1,190	1,242
貸倒引当金	△37	△40
投資その他の資産合計	15,525	12,442
固定資産合計	83,301	84,940
資産合計	128,845	133,164

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,719	16,672
短期借入金	21,088	23,501
未払金	9,159	10,967
未払法人税等	861	1,132
賞与引当金	1,860	2,168
その他	7,535	12,326
流動負債合計	56,226	66,769
固定負債		
長期借入金	3,003	—
繰延税金負債	2,833	2,182
退職給付引当金	6,371	6,252
役員退職慰労引当金	111	107
資産除去債務	124	125
受入敷金保証金	6,770	6,686
その他	631	582
固定負債合計	19,845	15,936
負債合計	76,072	82,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	15,986	14,975
自己株式	△2,463	△2,505
株主資本合計	49,322	48,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,620	2,449
繰延ヘッジ損益	63	△11
為替換算調整勘定	△623	△579
その他の包括利益累計額合計	3,060	1,858
少数株主持分	390	330
純資産合計	52,773	50,457
負債純資産合計	128,845	133,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	71,436	76,098
売上原価	35,958	38,636
売上総利益	35,477	37,462
販売費及び一般管理費	33,468	36,625
営業利益	2,009	837
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	273	273
持分法による投資利益	5	5
その他	322	271
営業外収益合計	605	555
営業外費用		
支払利息	135	133
その他	107	134
営業外費用合計	243	268
経常利益	2,371	1,124
特別利益		
固定資産売却益	17	282
投資有価証券売却益	—	4
関係会社株式売却益	978	—
特別利益合計	996	287
特別損失		
固定資産除売却損	131	293
減損損失	—	93
投資有価証券評価損	1,306	—
特別損失合計	1,437	386
税金等調整前四半期純利益	1,930	1,024
法人税、住民税及び事業税	1,343	1,071
法人税等調整額	△543	△524
法人税等合計	800	547
少数株主損益調整前四半期純利益	1,130	477
少数株主損失(△)	△15	△76
四半期純利益	1,145	553

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,130	477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,470	△1,167
繰延ヘッジ損益	△51	△74
為替換算調整勘定	11	65
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△3
その他の包括利益合計	1,413	△1,179
四半期包括利益	2,543	△702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,550	△648
少数株主に係る四半期包括利益	△7	△54

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,930	1,024
減価償却費	2,566	2,675
減損損失	—	93
のれん償却額	52	52
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10	△119
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	387	307
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△2
受取利息及び受取配当金	△278	△278
支払利息	135	133
持分法による投資損益 (△は益)	△5	△5
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,306	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4
関係会社株式売却損益 (△は益)	△978	—
固定資産売却損益 (△は益)	△8	△237
固定資産除却損	121	248
売上債権の増減額 (△は増加)	△310	△2,022
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,386	△431
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,592	941
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,569	458
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△133	△15
未払金の増減額 (△は減少)	1,463	1,479
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	108	484
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△121	△84
その他	△84	△21
小計	3,774	4,674
利息及び配当金の受取額	278	278
利息の支払額	△138	△135
法人税等の支払額	△871	△800
災害損失の支払額	△337	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,705	4,016

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,500	2,500
有形固定資産の取得による支出	△4,975	△2,603
有形固定資産の売却による収入	166	563
無形固定資産の取得による支出	△23	△12
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	—	5
関係会社株式の取得による支出	△993	—
関係会社株式の売却による収入	1,156	—
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△35	△74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,205	378
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△260	△482
長期借入金の返済による支出	△70	△117
自己株式の取得による支出	△3	△44
自己株式の売却による収入	0	1
配当金の支払額	△1,564	△1,564
少数株主への配当金の支払額	△41	△6
その他	△179	△203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,118	△2,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,623	1,986
現金及び現金同等物の期首残高	9,486	4,802
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	100	896
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,962	7,684

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食料品 製造	食料卸売 及び飲食店	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	65,847	3,820	1,481	71,148	288	71,436	-	71,436
セグメント間の内部売上高	586	305	158	1,050	446	1,496	1,496	-
計	66,434	4,125	1,639	72,199	734	72,933	1,496	71,436
セグメント利益	1,682	8	451	2,142	79	2,221	212	2,009

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 212百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用 157百万円、のれん償却額 52百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰
属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食料品 製造	食料卸売 及び飲食店	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	70,649	3,673	1,494	75,817	280	76,098	-	76,098
セグメント間の内部売上高	628	336	135	1,100	428	1,528	1,528	-
計	71,278	4,009	1,630	76,918	708	77,627	1,528	76,098
セグメント利益	480	84	475	1,039	88	1,128	291	837

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 291百万円には、セグメント間取引消去 7百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用 208百万円、のれん償却額 52百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰
属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連
結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法
に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。